



世界への
プレゼントに
なろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2839 2016年4月11日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

卯野福弥会長
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 司会 卯野福弥会長

★ 出席報告

榎木直行委員長
 会 員 数 30名
 出 席 者 15名
 欠 席 者 13名
 出席免除者 2名
 メークアップ 11名
 出 席 率 92.8%

★ 会長挨拶

卯野福弥会長
 4日前の4月7日に那珂湊ロータリークラブの会員であった野上哲平さんの葬儀・告別式がしめやかに営まれました。野上哲平さんは第53代会長を、また2009-10年度第2分区ガバナー補佐を務められ、25年間にわたってロータリー活動に情熱を注がれました。私は会長として弔辞を申し上げる機会をいただきましたが、弔辞を申し上げたのは初めてでした。弔辞を申し上げる最中、野上哲平さんの温厚なお人柄で、多くの皆さんに慕われた生前のお姿を思い出し、こみ上げるものがありました。今は桜の真つ盛

り。これから毎年、桜の季節になると野上哲平さんのことを思い出すことと思います。慎んでご冥福をお祈りしたいと思います。

また、一昨日9日の地区協議会に参加されました次年度の役員になれる皆さん、大変お疲れ様でした。本日はこの後、その報告をよろしくお願いいたします。

★ 幹事報告

遊座文郎幹事

- ① 4月17日(日)に実施される地区大会には14名の会員の参加が予定されています。午前7時30分に藤屋ホテル前を出発しますのでよろしくお願いいたします。
- ② 会員増強についてですが、昨年の7月当初は32名でスタートしました。しかし、奥山正紀会員の退会と野上哲平会員のご逝去により現在は30名になってしまいました。純増1名が難しくなっていますが、今後とも会員の増強についてのご協力をよろしくお願いいたします。
 なお、このたび常陽銀行湊支店支店長であった佐藤利昭会員が常陽リース郡山営業部部長として転出されたために、その後任として常陽銀行湊支店支店長の白土周一さんが新会員として入会することになりました。
- ③ 5月の理事会は、5月16日(月)の午後6時から藤屋ホテルにて行います。

★ 新入会員の紹介



白土周一会員

紹介者 卯野福弥会長
生年月日 昭和37年8月10日
入会年月日 平成28年4月11日
事業所名 常陽銀行湊支店
役職名 支店長
職業分類 商業銀行
自宅 水戸市河和田1-2455-3

〔自己紹介〕

前任は茨城大学に出向しておりました。その前が東京営業部でした。その前の勤務先でロータリークラブに入会しており、今度が二度目の入会です。実家は福島県いわき市の出身です。名前がこちらでは「しらと」と読んでいただいておりますが、実家の方では「しらど」と呼ばれ、土に、をつけて呼んでいるようです。クラブに再入会ですので、会員の皆様と親しくお付き合いしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

★ 委員会報告

ニコニコボックス委員会

榎木直行委員長

野上房子様……この度夫哲平の葬儀におきましては、大変お忙しい中ご会葬いただき、誠にありがとうございました。夫は最期までロータリアンとしての誇りとクラブ愛を貫き、また、絶対に病気を克服してクラブ活動に戻りたいと頑張っておりました。その心の支えとなったロータリークラブの皆様方に、夫に変わり御礼を申し上げたく筆をとりました。些少ではございますが、私の気持ちをお包みいたしました。今後のクラブの発展を夫とともに心よりお祈りいたしております。ありがとうございました。

★ クラブ協議会

「地区研修・協議会に参加して」

川崎通夫会長エレクト

一昨日の4月9日(土)古河市中央運動公園総



合体育館において、2016-17年度R I第2820地区研修・協議会に当クラブより8名が出席して参りました。そのご報告をいたします。

まず、2820地区白戸仲久ガバナーエレクトより下記の挨拶がありました。

皆様、本日は年度初め何かとお忙しい処、地区研修・協議会に多数の方にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は去る1月17日～22日迄、一週間家内共々アメリカ サンディエゴで行われた国際協議会に参加して参りました。協議会2日目午前の本会議に於いて、ジョン・ジャームR I会長エレクトは次年度R Iテーマを「人類に奉仕するロータリー」と発表されました。

当地区では、協議会を終え帰国してからパストガバナーで構成する地区諮問委員会に於いて、帰国報告を行うことが慣例となっております。席上私は地区スローガンとして、「ロータリーに魅力を・一人一人が輝きを！」とさせて頂きました。ロータリーが日本に上陸して2020年には100年に成ります。その間、度重なる変遷を経て今日に至っております。

地区スローガンは、私が40年前ロータリークラブに入会した時と、今日のロータリー、そしてクラブ運営に大きなマンネリが否めないからです。「一人一人が輝きを」とは、ロータリアン各人が時間や相手との約束事を、そして一人では生きていけない社会のルールをしっかりと守ることだと思っております。更には、他人への思いやり等ができることで世間から見ても、ロータリアンは素晴らしいとの評価を頂きロータリーが魅力(人の心を惹きつける力)があるものに成るのではないのでしょうか。

さて、いよいよロータリー次年度へ備えての三大セミナーも最終のセミナーとなりました。当セミナーはいくつかの目標がありますが、「次期クラブ指導者が任期に備えて準備を整え指導者チームを築くこと」このことが最重要な目的と認識しています。

ロータリーの役員・委員の任期は殆ど一年です。極端に言えば何もやらなくても一年の月日

が経てば終わりますが、一年だからこそ手抜きをせず持てる力を全力で職責を全うすることがやり甲斐があるのではないのでしょうか。全委員の皆様、任期中に共に頑張りましょう。

◇ R I 2016-17年度の優先項目

1. 地区内クラブの少なくとも51%が会長賞を受賞する。
2. DDF（地区財団活動資金）の少なくとも20%をポリオプラスに寄付する。
3. 年次基金への寄付を前年より5%増やす。
4. 地区全体の会員数を3%増やす。

◇ R I 2016-17年度ロータリー目標

【1:クラブのサポートと強化】

- ① 最近の退職者および若い職業人に働きかけて、会員増強を図る
- ② 会員の積極的参加とクラブの充実化を図り、会員維持率を向上させる
- ③ 会長賞へのクラブの参加を増やす
- ④ ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる

【2:人道的奉仕の重点化と増加】

- ① 永久にポリオを撲滅する
- ② 年次基金へのクラブ寄付平均、および財団補助金へのDDF（地区財団活動資金）拠出を高める
- ③ ポリオ撲滅への支援を続けるために、クラブと政府からの寄付を増やす
- ④ 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める
- ⑤ 青少年や若きリーダーの支援、およびロータリーの6つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める

【3:公共イメージと認知度の向上】

- ① ロータリーに対する人びとの認識を高める
- ② ロータリーの功績と、「世界でよいこと」をしてきた財団の100年の歴史について広報する

【地区スローガン】

「ロータリーに魅力を・一人一人が輝きを！」

【地区目標】

- ◎ R I 会長賞へのチャレンジ
- ◎ 財団への支援と協力
150ドル（130ドル年次寄付・20ドルポリオ）
- ◎ 会員増強と会員維持率の向上 純増3%
- ◎ 青少年奉仕の支援
インターアクト／ローターアクト／ライラ／青少年交換
- ◎ 財団100周年を記念する国際大会への参加
- ◎ 米山記念奨学会への支援 1人25,000円以上
- ◎ アトランタ国際大会参加30人

【新規取組事項】

- ◎ クラブ奉仕委員会内に情報員会を小委員会

として創設

- ◎ 国際奉仕委員会による地区国際奨学生制度の開始

R I 第2820地区「第1分区R I 会長チャレンジチェックシート」

会長賞受賞資格:クラブが会長賞資格を満たすのは、必須項目である2つの活動を完了し、そのほかのカテゴリーの項目をいくつか満たす必要がある。

多くの項目はR I データを通じて自動的に確認できるものだが、幾つかの項目はクラブがロータリークラブ・セントラルに報告する必要がある。

■ 必須活動（以下の両項目を達成）

- ・ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定する □
- ・7月と1月のR I 半期人頭分担金を期限までに（遅滞なく）支払う □

■ 会員の増強と維持（以下のうち2項目を達成）

- ・会員数の純増:小クラブ(会員50名以下)は少なくとも1名の純増、大クラブ(51名以上)は少なくとも2名の純増を達成する □
- ・会員の維持率を前年度と比べ少なくとも1%上げる。または会員維持率100%を維持 □
- ・40歳未満の新会員の入会:会員50名以下のクラブは40歳未満の新会員を少なくとも2名、会員数51名以上のクラブは少なくとも4名入会させる □

■ 財団の寄付（3項目を達成）

- ・536ドル以上を寄付して財団を支援する □
- ・各会員が26ドル50セント以上を寄付して財団を支援する □
- ・ロータリー財団100周年を記念してポリオプラスに合計2,650ドル以上を寄付する □
- ・年次基金に会員一人平均100ドルを寄付する□
- ・財団100周年を記念し、クラブから財団への合計寄付額を過去5年間で最高の額とする □
（基金を問わず、全会員からの寄付の合計。ただし、会員一人当たり少なくとも26ドル50セントを寄付）

- ・ベネファクターと遺贈友の会会員の総数をクラブで少なくとも1名増やす □

■ オンラインツールの利用（2項目を達成）

- 全データはR I で自動的に記録される
- ・全会員の少なくとも50%がMy ROTARYのプロフィールにスキルと関心を入力し、ほかのユーザーが見られるようにその情報を公開する □
- ・ロータリーショウケースに少なくとも1件のプロジェクトを掲載する □
- ・ロータリーアイデア応援サイトでプロジェクトへの支援を募る。または、同サイトで支援する□

- ・少なくとも2名の会員がMy ROTARYのフォーラムのグループに参加する □
- 人道的奉仕（3項目を達成）
- ・ロータリー地域社会共同隊（RCC）を提唱し、地域の人びとの参加を促し、プロジェクトを持続可能なものとする □
留意事項:RCCは国際ロータリーの認定を受けている必要がある。クラブが提唱/共同提唱していることがRIに記載されているかどうかは、会長がロータリークラブ・セントラルのレポートで認識できます。
- ・クラブで少なくとも1名の会員が、理事会公認のロータリアン行動グループのメンバーである（ロータリーセントラルで報告）
- ・少なくとも1件のグローバル補助金または地区補助金の提唱者となる □
留意点:クラブがグローバル補助金の提唱者となっているか、または地区が申請した2016-17年度地区補助金の使用計画にクラブが提唱者として含まれているかどうかは地区に確認してください
- ・少なくとも1名の会員が、補助金セミナーに出席する（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- ・ロータリーの奉仕のパートナーの一つと協力してプロジェクトを実施する（ロータリークラブ・セントラルで報告） □
留意点:ロータリーには、プロジェクトにおいてクラブと直接協力できる複数のパートナー（協力組織）があります。奉仕のパートナーの最新リストある。
- ・少なくとも1つの企業、政府、地方自治体、非営利団体と提携してプロジェクトを実施する（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- ・同じ地域にある5つ以上のロータリークラブと協力し、大規模で、注目を集めるプロジェクトを実施する（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- 新世代（3項目を達成）
- ロータリーアクトクラブまたはインターアクトクラブは、国際ロータリーの認定を受けている必要がある。クラブがローターアクト/インターアクトクラブを提唱/共同提唱していることがRIに記載されているかどうかは、会長がロータリークラブ・セントラルのレポートで確認できる。
- ・ローターアクトクラブのスポンサーまたは共同スポンサーとなっている □
- ・地域社会を基盤とするローターアクトクラブのスポンサーまたは共同スポンサーとなっている □
- ・インターアクトクラブのスポンサーまたは共同スポンサーとなっている □
- ・少なくとも1名の会員が、ローターアクトまたはインターアクトのマンターとなる（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- ・クラブのプロジェクトやイベントにローターアクトまたはインターアクトが関与する（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- ・少なくとも1名のロータリー青少年交換学生を派遣または受け入れる（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- ・RYLAに参加者を派遣する（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- 「公共イメージ（1項目を達成）（ロータリークラブ・セントラルで達成状況を報告）
- ・ロータリー、および財団100周年について地域社会の人びとに知ってもらうためのイベントを主催する（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- ・クラブのプロジェクトを地元メディアで取り上げてもらう（ロータリークラブ・セントラルで報告）□
- ・少なくとも1回のクラブイベント、募金活動に地元メディア関係者を招く（ロータリークラブ・セントラルで報告）□

水門帰帆（みなとのきはん）

ひたちなか市役所那珂湊支所の近くに、水戸八景の一つ「水門帰帆」の碑があります。碑のある高台からは、東に太平洋、南に鹿島灘、西に筑波山、遠くに日光の連山を眺望することができ、絶景の場所です。那珂川は、明治時代まで、碑の下、現在の海洋高校の辺りを流れており、白い帆の出船・入船を見降ろすことができました。碑は、もともと現在地よりも若干前方に所在しており、明治期と大正期に改修され現在に至っています。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」